

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	篠町	No.1-① 学校規模適正化の取組みについて	<p>東輝・詳徳中学校ブロック協議会や昨年7月から9月にかけ保護者・地域の方々・市の道路担当部署・教育委員会が現地を歩いた中で、安全対策等についてご意見をいただきました。その意見を取りまとめた通学路の案を7月2日から5日までの4日間で対象地域ごとに説明会を実施しました。</p> <p>例えば、国道9号線の西川橋の陸橋を渡り、国道を西に進みシミズ病院の駐車場側の道路を北に進むルートを検討いただいています。国道については、既に安全柵が設置され、今後は市の道路部署を通じて交差点表示や路側帯のカラー舗装化等に取り組み、今年度中の完成を目指すべく関係課と協議を進めています。</p> <p>一方、陸橋を渡り西川橋から野条大橋までの区間を通学路にできないかというご意見をいただいています。この区間は、歩道が未設置の区間があり、野条大橋の部分には横断歩道が設置されていないため、警察と協議を進めています。また、道路部署でも歩道設置にむけ協議を進めており、今後用地協力が得られれば通学路について地域の方々と相談し取組みを進めます。</p> <p>小・中学校の受け入れに対する学校施設整備は、安詳小学校、詳徳小学校は既にエアコン設備が整備され、残る小中学校は今年度中の完成を目指して進めています。詳徳小学校は、今年度校舎の大規模改修工事に係る実施設計を計画し、次年度以降に取り掛かる予定です。また、詳徳中学校は、今年度トイレの様式化に取り組み、今年中に工事が完了する予定です。また、生徒数の推移を見ながら校舎の整備も計画的に進めます。</p>	教育部長	施設整備… ①実施 通学路…② 実施予定	<p>こん談会での回答のとおりです。なお、亀岡市内の小中学校空調設備設置工事は全校完了しております。また、詳徳中学校のトイレ洋式化についても既に完了いたしました。</p> <p>通学路整備につきましても、市道について、道路管理者において工事完了していただきました。</p>
2	篠町	No.1-② 一級河川桂川と支川の治水対策について	<p>桂川は、昨年の8月に京都府が桂川上流圏域の河川整備計画を作成し、それに基づき下流域の整備とバランスを保ちながら河道掘削や築堤工事等の改修工事が進められることとなっています。</p> <p>下流域では平成25年の出水を受け、5箇年の期間を緊急治水対策とし河川改修を進めており、今年度は最終年度となっています。その中で、嵐山地区の左岸側に可動式の止水壁を設置することで地元調整が整い、本年度施工し完了する予定と聞いています。その対策が完了すると、亀岡市域の9箇所の霞堤が約1m嵩上げ出来ることとなり、まずは、保津橋より下流の鶴の川、西川、雑水川、左岸の下浜(保津町側)の4箇所が嵩上げされることとなりました。霞堤の嵩上げが実施されればこれまで霞堤から溢水したものが大幅に改善され治水安全度が大きく向上すると考えます。</p> <p>今後、鶴の川の霞堤は、地質調査また詳細設計に向けた地質の解析が行われており、今年度詳細設計をすると聞いております。支川については、府民協働型インフラ保全事業で要望をいただき、昨年度は西川の国道9号より下流の浚渫を京都府で実施をいただきました。</p> <p>今後も、各支川の浚渫や自生木の除去等適正管理について、桂川改修促進期成同盟等と力を合わせ京都府に働きかけてまいります。</p>	まちづくり推進部長	⑥その他	<p>嵐山の可動式止水壁について、今年度内の完成は難しいと聞いています。嵐山の進捗を見極めながら、工事に着手されることとなります。</p> <p>その他は、こん談会での回答のとおりです。</p>

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
3	篠町	No.1-③ 空き家の増加に伴う管理対策について	<p>空き家は個人の私有財産であり、空き家関連の法令等が整備されている今日であっても、所有者に断りなく建物等に手を加える行為は難しく、限定的な状況であることには変わりはありません。そのため法令等に沿って所有者(多くの場合、相続人)等を調査追跡し、その方に対し管理責任があることの啓発指導を積極的に行っています。</p> <p>住宅土地統計調査によると、市内には2,310戸の一戸建ての空き家が存在し、その内400戸程度が管理の行き届いていない問題のある空き家であると推計しています。</p> <p>現在、国が定めた法律や条例に沿って、事情や条件が様々に異なる空き家全てに対し所有者を調査し、自主的な対応を促しています。</p> <p>今後の取り組みは、所有者に対し、空き家自体を放置することが結果的に大きな経費的負担といったリスクになることを説明しつつ、所有者に対応を働きかけていきたいと考えています。</p> <p>空き家関連情報として、平成27年度のデータで亀岡市には990戸、篠町131戸ございます。篠町在住者からの相談は、6月末現在で受理件数32戸、その内建物に問題があるのは25戸と確認しています。</p> <p>平成26年に空き家等対策の推進に関する特別措置法が制定され、亀岡市が平成30年に条例を制定しました。亀岡市独自の施策として緊急安全措置を設けています。これは、空き家等が道路及び公共の場所に対して被害を与える場合のみ対応するものです。その実績は、昨年畑野町で緊急安全措置を実施しました。</p>	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	こん談会での回答のとおりです。
4	篠町	No.1-③ 空き家の増加に伴う管理対策について	<p>放置された空き家は、先程担当部長が申したように空き家等対策の推進に関する特別措置法等により管理不全となっている空き家等の所有者を調査・特定し、指導を行っていますが、これを特定空家といいます。この特定空家にあらずに雑草等だけが問題である場合、環境政策課に引き継がれ、亀岡市環境美化条例及び亀岡市あき地の雑草等の除去に関する要綱に基づいて指導を行っています。また、年2回雑草パトロールによる定期的かつ継続的な監視と指導を行っているところです。</p> <p>また、放置された土地の所有者には、要綱の範囲内で適正な管理等について、文書で通知しています。雑草管理を含めて土地の管理は所有者の責務というのが基本的な考え方であり、行政としても条例や要綱に基づいて可能な限り、空き地の適正管理の啓発、指導に努めているところですが、所有者等の特定については法的な限界があるのも現実でございます。</p> <p>今後は自治会、地元の方々からの情報を頂く中で、連携を図りながら進めていきたいと考えています。</p>	環境市民部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
5	篠町	No.1-③ 空き家の増加に伴う管理対策について	<p>空き家の管理体制について除草と剪定サービスというご質問がございましたので、市長公室からお答えします。現在情報が届きにくい市外の所有者に対して固定資産税・都市計画税の税額通知書を送る際に、その封筒の中に民間の除草等や庭木の剪定、空き家の見回りのサービスがあることを伝え、それがふるさと納税の返礼品で活用できることを案内しています。また、空き家バンク登録制度があることも周知しています。</p>	市長公室長	①実施	今年度も5月の通知時に案内を同封いたしました。来年度につきましても同様の御案内を行いたいと考えています。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
6	篠町	<p>【質問事項等】 つつじヶ丘小学校における中矢田篠線の通学路の安全対策について</p> <p>詳徳地域の国道における安全対策について 陸橋を渡り国道に沿って歩くルートは大変狭い、国道の両側にあるき国道を横断する方法を検討できないか。</p>	<p>森、みどりヶ丘は、中矢田篠線を通りつつじヶ丘小学校に通っていただくと考えています。中矢田篠線を横断する箇所は、地域の方々、学校とも協議を進めてきました。北側のエリアは、つつじヶ丘小学校の前の信号を横断することで、中矢田篠線の北側を歩いていただけます。中矢田篠線の南側の地域は、南側にあるき学校へ行くことをお願いしようと考えています。その間の中矢田篠線の安全対策等は、歩道等は設けられており、部分的にガードパイプが設置されていますが、未設置の区間もありますのでその区間を整備するよう準備を進めています。</p> <p>国道については、保護者の方々から安全対策を求めるご意見はいただいています。確かに幅員が狭いため引き続き安全対策等については検討します。国道の南側を歩くルートを保護者の方々からご意見をいただきながら、基本的には国道の横断方法としては陸橋を使う方がより安全ではないかと考えて今回提案させていただきました。今後保護者の方々からご意見をいただき検討したいと考えます。</p>	教育部長	③検討	<p>国道の南側を歩くルートについては、横断陸橋を渡る方がより安全であり、今後は横断陸橋を渡った後、市道柏原森線を野条大橋に向かっていくルートの整備のため関係者と協議をします。</p>
7	篠町	<p>No.2-① 北古世西川線の暫定供用開始と今後の完全供用開始について</p>	<p>当該道路については、亀岡市の中心都市核と東部都市核のネットワーク化を図るうえにおいて重要な路線であります。府道王子並河線の渋滞緩和や市立病院へのアクセス向上に加え、通学路の安全確保など市民の安全・安心に大きく貢献する路線として道路整備を進めてきました。暫定供用開始後においては府道王子並河線の車両交通量も減少しており東西道路整備にかかる事業効果が表れていると考えています。残る工事区間については、篠町フローラルタウン区に接する延長約240mとなっています。この工事については、現在工事発注準備を行っているところです。この工事が完成すると全線拡幅が完了となり現向鳴団地付近において道路付近を区画点により狭小化していますが、拡幅工事完成に合わせ区画線の引き直し及び速度規制等の交通規制を同時に行えるよう公安委員会と協議調整を行っているところです。</p>	まちづくり推進部長	①実施	<p>市道北古世西川線については残整備区間について8月に工事発注を行い現在年度末完成に向けて取り組んでいるところです。工事完成と同じくして、速度規制等の交通規制を設ける公安委員会とも協議調整も整いましたので、3月26日に市道北古世西川線および、市道馬堀山本線の一部区間が最高速度40キロおよび駐車禁止となります。また、合わせて府道王子並河線の午前7時から9時一方通行規制区間の一部が解除され、終日交互通行が可能になります。</p>
8	篠町	<p>No.2-② 市道柏原森線今後の取組について</p>	<p>D11当該路線は通学路であります、自動車交通量も多くかつ狭隘で歩道もなく危険であることから、平成24年度に歩道設置の要望をいただき、詳徳小・詳徳中学校から、府道王子並河線にむけ110m間の事業化を図り、一部未整備区間を除き、平成27年度に東側の歩道設置が完了したところです。府道王子並河線から整備区間におきましても、平成28年度に住宅建設計画の情報を受け、道路用地の先行取得を行い、事業用地確保したところであり、現在はその用地を活用して仮歩道を設置しているところです。また、昨年度においては、境界立会をはじめ、物件補償調査を行ったところです。</p> <p>今後の予定としては、道路拡幅に係ります道路用地確保が必要不可欠であることから、境界立会に係ります同意徴収や用地補償協議を順次進めているところです。</p>	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	<p>市道柏原森線については今年度、道路用地取得に向けた境界確定等の事務を引き続き進めているところです。</p> <p>用地取得等については地元の協力も不可欠であることから今後とも御理解、御協力よろしく申し上げます。</p>

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
9	篠町	No.2-③ 鳥獣被害に対する対策の強化について	<p>バッファゾーンにつきましては、南丹北摂地域鳥獣被害防止対策連絡協議会の鳥獣被害防止総合整備事業を活用し、平成26年千歳町出雲で、平成27年及び平成28年に西別院町笑路で実施したが、事業後の維持・管理の状況をみていると効果を持続するためには相当苦勞していると判断しています。そのことから、その後の要望展開は控えています。</p> <p>また、ジビエの利活用につきましては、大変魅力的な提案であり、国際ジビエ認定施設第1号となりました、(株)アートキューブの京丹波自然広報などのモデルを参考にしながら研究を行い、そうした民間の取り組みを後押しできればと考えています。</p> <p>鳥獣被害防止総合対策交付金など国の施策を活用するには、事業主体となる、地域協議会等が必要になりますが、狩猟者の減少・高齢化等の課題を有する本市にあつては、組織することが難しいのではないかと考えています。</p> <p>(株)アートキューブの事業参画についての条件等は現在確認しているところです。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
10	篠町	No.2-④ バス交通について	<p>篠地区コミュニティバスは篠町のバス路線の空白地域を解消することに加え、市中心部との連絡や市立病院へのアクセス向上を図ることを目的として、平成28年2月から試験運行を開始しました。</p> <p>これまで自治会の協力を得て住民アンケートを実施し、ニーズを把握する中で増便を行ったり、市道北古世西川線の供用開始とあわせて夕日ヶ丘方面と亀岡駅を結ぶルートの再編に努めてきたところです。</p> <p>そして3月には、利用状況等を踏まえ、運行路線や運行時間帯を取捨選択する中で再編を行ったところです。現在の利用状況としては、1日あたりの利用人数としては、4月は64.6人、5月は63人となっており、前年度の1日あたりの利用人数、66.2人よりも少ない状況です。なんとか運行を継続したいと考えていますので、引き続き多くの方に利用いただきますようお願いいたします。</p> <p>王子地域へのコミュニティバスの運行については、王子地域へ運行させることで現在より利用者が大幅に増加し、経費が削減できる確実な見込みがあるということであれば検討することも考えられますが、王子地域については、京阪京都交通バスが国道9号を運行しており、バス交通が整備されている地域でもあり、重複の運行となることから、今のところコミュニティバスを王子地域へ運行させる計画はございません。</p>	まちづくり推進部長	①実施 ⑤困難	令和2年3月以降も試験運行を継続しました。 こん談会での回答のとおりです。
11	篠町	No.3-① 市道中矢田篠線の通学路対策について	<p>亀岡市の交通事故発生状況につきましては平成25年464件から平成30年218件となっており、減少はしているものの、まだまだ多く発生しているという現状があります。今後はセーフコミュニティの理念に基づく安心・安全のまちづくりは、市政の根幹であり亀岡警察署などの関係機関と今後も交通安全対策を検討していきたいと考えております。</p> <p>速度超過の取り締まりにつきましては、警察署が権限を有しますので、亀岡警察署交通課に対して、定期的な取り締まりの要請をしていきたいと考えております。</p> <p>また、本市では日常生活の中で決められた速度や交通ルールを守りながら安全走行(セーフティドライブ)に努めていただくために「セーフティドライブ」プロジェクトを進めています。篠町の方につきましてはご協力お願いします。</p>	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
12	篠町	No.3-① 市道中矢田篠線の通学路対策について	当該路線につきましては、全線開通に合わせ、既存道路について更なる安全対策として路面標示による速度抑制、スピードが出やすい曲線区間においては、ガードパイプの設置、点滅信号や歩車分離信号など、通学路の安全対策を講じてまいりました。市道中矢田篠線につきましては、学校規模適正化に係る安全対策としまして、篠町森からつつじヶ丘小学校まで全区間において、ガードパイプの設置を行います。また、篠ランプ9号線方面におきましても、交通安全施設について検討しているところです。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	市道中矢田篠線の通学路の安全対策として、今年度、篠町森からつつじヶ丘小学校までの区間において、ガードパイプの設置を行なっております。また、篠ランプ9号線方面においても、交通安全施設について検討しているところです。
13	篠町	No.3-① 市道中矢田篠線の通学路対策について	関係部門としっかりと連携をとり、安全で安心できる通学路の策定に向けて取り組んでいます。	教育部長	②実施予定	道路管理者において工事完了していただきました。
14	篠町	No.3-② 民生・児童委員の改選について	民生委員児童委員の候補者の推薦については、5月末に自治会長に依頼をさせていただいております。京都府等の改選方針の決定を受けてからの依頼となったため、短期間での選出をお願いすることとなり申し訳ありません。次回については、少しでも早い時期から対応してまいりたいと考えています。 推薦にいたらず欠員が生じた地区については、周辺地区の民生委員児童委員の中で対応をいただいているところですが、災害時や支援が必要な場合には篠地区民生委員児童委員協議会とともに市職員も対応させていただきます。 要支援者名簿については、独居や高齢者世帯が対象ということで住基等から抽出をしています。現状とそぐわない部分については、民生委員児童委員からの情報も追加し対応していきますので、ご相談いただければと思います。	健康福祉部長	③検討	民生委員児童委員の候補者の推薦方法については、今後自治会の皆様とも十分協議をさせていただきながら、早い時期から対応を行い、少しでも負担が軽減されるよう努めてまいります。 また、今回の一斉改選では、篠町では自治会の皆様の御尽力により、欠員になることなく全員の委嘱を行うことが出来ましたこと厚くお礼申し上げます。 要支援者名簿については、現在民生委員児童委員からの情報等を追加する中で、対象者の実情をできるだけ反映した名簿にできるよう努めてまいります。
15	篠町	No.3-③ 自治会館建替えに伴う貸付金について	本市では、亀岡市生涯学習施設整備事業補助金交付要綱に基づく補助制度があり、自治会事務所の改修等に対する補助を行っています。自治会事務所の整備に当たっては、多額の費用を要することから、整備資金の貸付、国・府等の補助制度も含めた財源の調達や地域の特性を生かした施設整備について調査・研究をしてみたいと考えています。建替えが具体化された時期に自治会の皆様と共に調整してまいりたいと考えています。	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
16	篠町	No.3-④ 散策道の整備について	<p>昨年の7月豪雨等により、市内の各ハイキングコースで倒木や山道の崩落などの大きな被害が生じています。大河ドラマ「麒麟がくる」の放送が決定し、その気運を盛り上げていくためにも唐櫃越ハイキングコースを含め予算が措置できた部分から、順次、亀岡市観光協会や亀岡市森林組合と連携し、調査・復旧に努めているところです。唐櫃越ハイキングコースで最も通行困難な箇所については、京都市内であることから、過日西京区に確認をしましたが、現在のところ整備予定は無いとの回答を得ております。ハイキングコースの整備については、利用者の負傷時の責任の問題や地権者との関係から、行政だけの取り組みには限界があるため、山岳会や地元住民の皆様と共に緩やかな保全活動に努めてまいります。地元住民の皆様の自主的な取り組みに関しては、市の森林ボランティア活動補助金や京都府モデルフォレスト協会が展開する府民里山ふれあい事業などの公的支援が活用できる場合がございますので、ご相談いただければと思います。</p>	産業観光部長	②実施予定	<p>2019年11月26日に西京区職員、自衛隊と共に現地調査を実施し、今後の整備に係る方向性を確認しました。復旧作業を実施するにあたり、当該地区の地権者等の確認を西京区役所にて行い、地権者の判明及び整備することの許可を得ています。今後は、京都市西京区や自衛隊等と協力しながら3月中の整備に向けて取り組んでまいります。</p>
17	篠町	No.4-① シニアカーの駐車場確保について	<p>JR各駅前の自転車等駐車場につきましては、基本的に自転車及び125CC以下の自動二輪車並びに原動機付自転車の利用を条例において定めており、現状ではシニアカー等の駐車は想定していません。しかし、今後高齢化による免許証の返納に伴い、自動車等から当該車両への転換が増え、そうしたニーズが高まることも予想されることから、シニアカーの利用実態を把握し、当該駐輪場への受け入れについて課題を抽出し、調査・研究を進めてまいりたいと考えています。</p>	まちづくり推進部 事業担当部長	②実施予定	<p>現在、シニアカーが数台駐車出来るよう、駐車スペースの確保等、整備を進めているところです。なお、利用料金については、自転車と同額を想定しております。</p>
18	篠町	No.4-② 宮の谷川の土砂浚渫	<p>宮の谷川の土砂浚渫につきましては、昨年度、篠町森地内の浚渫を行ったところがあります。一部残っている区間につきましては、現地を確認し、状況を把握してまいりたいと考えています。引き続き、河川の適正管理に努めてまいりたいと考えています</p>	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	<p>隣接する災害復旧工事の実施に合せ令和元年11月22日に地元役員・業者と立会、現地確認を行いました。令和2年2月土砂浚渫実施完了しております。</p>